

平成30年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- ・基礎学力の定着を図り、自ら学ぶ意欲を育てる。
- ・自らを律する心を育て、礼節を重んずる生活習慣の確立を図る。
- ・自らを鍛え、健康で豊かな思いやりのある社会人の資質を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価の結果の概要と今後の改善方針

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営の効率化を図り、学校に対する生徒の満足度を高めるため、学年と分掌間の連携に努めた。 ・学校の情報を保護者や地域に伝えるため学校通信やホームページの更新に努めた。閲覧数は増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校通信については毎月、回覧板において閲覧が可能であり、学校の様子がわかりやすい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の学校理解を深めるため、ホームページ及び学校通信の充実・改善に努める。また、生徒が保護者へ配布物を確実に届けるよう、スケジュール手帳の活用や成績発送時に学校通信を同封するなどの改善を図る。 ・ホームページの閲覧数増加に向けた取り組みの充実を図る。 ・様々な媒体を活用し学校情報の積極的な発信に努める。 	
教科指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対して公平・公正な評価に努めるため、評価方法や授業改善を行い、生徒が主役となるよう、わかる授業、参加する授業の展開に努める。 ・生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図るため、家庭学習の定着に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得に向けた講習や受験機会の確保については、今後も期待している。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着・向上のため、積極的に授業改善へ向け授業参観や合評会等の研修に取り組み、組織的に主体的で対話的な深い学びを実践する体制づくりに努める。 ・スケジュール手帳を活用し目標を設定させ宿題や課題を課すことで家庭学習の習慣化を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみや挨拶など生徒は落ち着いた学校生活を送っている。 ・悩みを抱える生徒への相談体制づくりが必要である。 ・生徒会が主体となる活動が活発に行われている。生徒の満足度も高い。 ・部活動の指導の在り方、学習と部活動の両立について充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況は大変落ち着いている。今後も継続した指導と生徒の安全確保に向けた指導を期待している。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・悩み事や相談事を抱えている生徒が、気軽に相談できる組織的な体制づくりや教育相談週間の改善に努める。 ・学校の活性化を図るため、部活動や生徒会活動の充実に努める。 ・部活動の活動方針や内容、活動時間、学習との両立などを計画的に推進する体制づくりに努める。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者、地域の期待に応えるキャリア教育と充実した進路指導體制づくりに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も進路決定率の維持に努め離職者を減らす取り組みに期待している。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携し、生徒の適性や発達段階に応じた系統的な進路指導の充実に努める。 ・進路だよりや進路説明会などで有効な進路情報の積極的な提供に努める。 ・公務員や進学対応に向けた、講習体制の充実を図る。 	